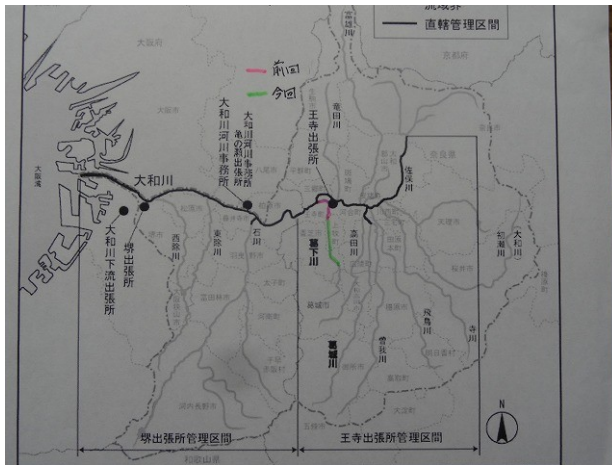


日本あちこち河川遡行記（第272回）

奈良1-5. 葛下川^{かげがわ}（その2）令和1年6月20日（木）晴

葛下川2回目の遡行に今日も大和に向かう。王寺で和歌山線高田行き快速に乗り換え次の「畠田」駅に向かう。快速と言っても湊町～王寺間は快速だが和歌山線内は各停で、区間快速である。新快速が姫路以西は各停となっているのと同じである。



01.今回調査区間位置図

手元の切符は早得割の岡山⇒新大阪・大阪なので若い駅員に「大阪から乗り越し」と言い580円を用意すると、「新幹線利用なので新大阪からの運賃670円です」と言う。これまで何度もこの切符で河内、大和を乗り越して来て大阪からの運賃でやって来たが、とんでもないことを言う。新幹線建設の経緯、新大阪駅は大阪駅と同じ駅扱いということを知らないようだ。苦言を言うと近くの駅に電話し確認をしている。結果は同じでそちらの駅員も若いのか運賃に関して無知なようだ。時間が無いので仕方なく670円を支払って駅外に出る。分からないことはベテランのいるだろう王寺駅か天王寺の支社に聞けば良いのにそれをしない。

駅の直ぐ北に線路を潜る狭い階段を見つける。先日は事前に調べておいたデータではこの階段は発見できず、西側に大回りして駅に来たが、何だこれならもっと短い距離で駅に来れたのに。今日はこの秘密の通路を潜り川に向かう。



02.王寺町の絵地図の右下から開始

03.航空写真にも地図にも載っていない
かった秘密の通路が

川に着き左岸側を南に進むとミニ公園を通過する。お爺さん、お婆さんと一緒の男児が蝶々を網で追いかけているのが微笑ましい。近くの住宅からこの公園に来たのだろう。



04.じーじと一緒に幼児が蝶々を追いかける

対岸は低い丘が南北に連なり、上牧町下牧地区である。こちらは王寺町から香芝市尼寺地区に入る。ニンジと読むようだ。橋毎に左岸と交互に進む。

西名阪道の下を潜り右岸側を進むと小綺麗な建物にインドとネパールの国旗がたなびいている。こんな所にインドカレーの店が有るぞ。遡行で初めて出会うインドカレーでビックリポンやないか。900円のランチの豪華な昼を摂る。

店の近くに上牧町の蓋が有ったのでカシャ。町の花のユリである。標準パターンだな。ここ上牧町は6km²余りの狭い町であるが人口は2万人以上もある。

対面する香芝市などの西和地区は多くの市町があるが何れも人口は多い。大阪まで30分前後の距離で人口増加が進んだ。



05.川沿いの瀟洒なインドカレー店に



06.上牧町は町花のユリだ

やがて東から県道253号が丘を下り川の右岸側に寄り添う。その交差点の南東角に白壁の塀がぐるりと取り囲んだ広く立派な家が建っている。300坪は有りそうな敷地に多くの建物が有る。放牧の馬で財を成したのかな。川沿いの道は桜並木となり日陰が連なっている。ありがたや、ありがたや！



07.広い敷地にお屋敷がイッパイだ



08.天祐だ！桜並木現る

涼しい風が吹く並木道の東側に面白い建物が現れる。大きな口を開いた子供の絵が際立つ保育所だ。建物に違和感が無く溶け込んでいる。

足元のマンホールは香芝市の市の花と木の「すみれ」と「櫻」でこちらも当たり前の絵柄でんな。



09.メルヘンチックな保育園の建物 10.香芝市は市の木と花の檜とスミレだ

西からは大阪府との県府界からの多くの小河川が合流している。川が上牧町と香芝市との境であったが香芝市単独のエリアに入る。JR香芝駅近くまで来ると四つ角に大きく立派な地蔵堂が有る。お地蔵さんは閉まった扉の奥に居られるようだが中は見られない。

国道165号の栄橋を越えると川は南から東からの流れと方向を変える。



11.ご尊顔が見られない立派な地蔵堂が

12.川はここで東からになる

近鉄大阪線が川沿いに走り、線路の向こうに「五位堂検修車庫」の大きな建物が建っている。遡行でしばしば出会う車庫である。京阪の淀、寝屋川、JR四国の高松、高知、JR西の網干、三田、放出、そして近鉄の東花園、西大寺そしてここ五位堂とのご対面である。

川沿いに進むと左岸側に丸い屋根、ベンチ付きの休憩にもってこいの建物が有る。風通しの良い近鉄が眼前を通過する鉄ちゃんにとっては天国の様な所で10分ほど休憩する。



13.近鉄「五位堂車庫」が川沿いに



14.ここで暫しの休憩

後ろ髪を引かれる思いで暑い娑婆に出る。この辺りの状況は手元の平成 18 年更新の地形図とは大きく異なっている。近鉄と国道との間は区画整理されたようで曲がりくねり狭い川は広く一直線に流路が変わり、区画整理地には新しい共同住宅などが立ち並んでいる。なにせ近くの五位堂駅からは次が 20 分の鶴橋の快速急行が出ているのだ。

南から最大の支流「岩谷川」が合流している。葛下川は上流部は多くの流れが有り、どれが本流なのか地形図などでは判別できなく、この支流はどの本流らしき川よりも長く、氏身元がはっきりしているのでこの合流点近くの大規模な市道橋で打ち止めとした。



15.区画整理された土地に川と集合住宅が



16.南から支流の「岩谷川」が合流

その橋を見て近鉄五位堂駅に向かう。駅前に駅付近の絵地図が有ったのでカシャ。

昼間は快速急行は無く、途中国分、布施停車の急行に乗車。かつての大阪線の急行は 2 扉、転換シートの堂々たる長距離仕様の電車であったが今は 4 扉のつまらない物になってしまった。どうぞ特急にお乗りください、か。鶴橋で難

波に向かう奈良線電車を待っていると難波行き「伊勢志摩ライナー」がやって来た。人気の特急であるが塗装のデザインが安っぽく近鉄らしくない。



17.五位堂駅付近の地図



18.鶴橋駅に来た特急「伊勢志摩ライナー」の塗装デザインは頂けないぞ

大阪駅の有人改札口で今朝の運賃の件を中年の駅員に話すと、暫しお待ちくださいと向こうの事務室に行って然るべき人（部署）に確認して来る。プロ野球のリクエストの結果は、セーフ。「畠田駅では失礼しました。連絡しておきます」。これで気持ちよくこだまで帰れるぞ。

本日の歩行距離：7.6km。調査した橋の数：26。

総歩行距離：10,467.8km。総調査橋数：13,347。

使用した 1/25,000 地形図：「大和高田」（和歌山 5 号-2）